

令和6年度 農山漁村振興交付金(農泊推進型)
事業実施主体 評価一覧

1. 事業評価の実施

令和6年度に実施された農山漁村振興交付金(農山漁村発イノベーション対策)のうち農山漁村発イノベーション推進事業(農泊推進型)及び農山漁村発イノベーション整備事業(農泊推進型)の事業について、農山漁村振興交付金(農山漁村発イノベーション対策)実施要領(令和4年4月1日付け3農振第2921号農林水産省農村振興局長通知)別記4の第9の規定に基づき、評価を行ったので、その結果を公表する。

2. 事業評価結果の総括

令和6年度に交付金事業を実施した東北農政局管内の8地区について、取組の実施状況、成果等を総合的に評価した。
その結果、優良と認められる地区が8地区との評価結果となった。
また、今年度の評価対象ではないが昨年度に重点指導の対象となっていた4地区について、重点指導の結果を評価した。その結果、来年度も引き続き重点的な指導、助言等を行う地区はなくなった。

3. 各地区の評価結果

8件(うち4地区は、今年度評価対象ではないが昨年度重点指導となっていた地区)

農政局等	都道府県	市町村	事業実施主体名	事業実施段階								評価	評価コメント
				R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8		
東北	秋田県	大館市	大館市まるごと体験推進協議会		★		◆ ▼	▲ ▼		▲		A	(評価コメント) 事業実績が改善され、売上高及び延べ宿泊者数の達成率が90%以上であり総合評価をAとした。 一部は目標達成には至らなかったが、テレビ局やSNSでの情報発信及びOTAの活用により国内客が増加している状況であり、また、価格改定により売上高も増加しているため今後の目標達成が十分に期待できる。 今後、インバウンドの受入により注力するため、OTAサイトの活用、魅力的な農村風景や農家民宿があることの配信、地域の魅力向上やマーケティングに係る取組を地域DMOと連携しながら推進していくことで、実績につながることを期待したい。 (指導・助言コメント) 令和6年度は売上高が目標達成に至らなかったものの、達成率が98%であり、地域資源を活用した体験・滞在型観光の仕組みづくりや国内外に向けた情報発信を行っていることから目標達成に向かっていることが見受けられる。また3軒の農家民宿における集客力の向上が期待される。とくに「和の里」については目標の達成に努められたい。 令和7年度についても引き続き、地域の農林業・商工業・観光業を巻き込んだ地域密着型の体験型ツーリズムを推進することで、目標達成に向けて取組を進められるよう検討されたい。

農政局等	都道府県	市 町 村	事 業 実 施 主 体 名	事業実施段階								評 価	評 価 コ メ ン ト
				R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8		
東 北	秋田県	仙北市	一般社団法人仙北市農山村体験推進協議会				★		◆			A	計画どおり取組が実施され、事業実績の売上高及び延べ宿泊者数の達成率が100%を超えており総合評価をAとした。 広告宣伝活動件数及び外国人向けプログラム数も計画以上の実施率で行われており、また、OTAを活用し独自に国内外から集客を行っている。さらに、顧客サービスの強化に基づいて料金単価の向上も実現できていることから、更なる実績アップが期待される。 今後も円滑な受入体制を維持し、各施設及び関係事業者等との連携を図り、地域全体の収益向上につながることを期待したい。
東 北	福島県	磐梯町	会津磐梯農泊推進協議会					●	● ■			A	(評価コメント) 計画上の取組が目標件数を上回っており総合評価をAとした。 磐梯山の豊かな環境と地元農家さんと連携したメニュー開発など他エリアの見本になる点が多いと見うける。 (助言コメント) 更なる地域活性を考慮して分析していただきたいのは、目標人数は達成しているが、売上が達成していない点。もうひとつはメニュー開発の数は達成しているが、メニューを見ると「フライドポテト」「エビのフリッター」「イカの下足揚げ」など磐梯町の生産者との連携が感じられないものもあり、事業として適切なメニュー開発であったか、地元ともっと連携できたのではないかと、の分析をメンバーで行っていただきたい。
東 北	宮城県	気仙沼市	気仙沼ヘルスツーリズム協議会					● ▼	● ■ ▲			A	(評価コメント) 前年度実績からインバウンドの宿泊者数、プログラム数、ガイド育成実施数が伸び、達成率も上がったことで総合評価をAとした。体験プログラムの売上が25.3%と低調であったが、途中で価格をあげるなどPDCAを持って事業を行っている努力もみられ、分析による対策を行えば改善の可能性も感じられる。 ヘルスツーリズムを売りにする協議会として、気仙沼の文化・水産加工の体験・健康を組み合わせ、差別化を磨いて取り組んでほしい。 (助言コメント) せっかく牡蠣小屋の方がメンバーにいますので、インバウンドが好きそうな食の体験をブラッシュアップするなどメンバーで連携を図ってほしい。客数を伸ばすには限界があるが、来てくれた方が気持ちよく体験できる受け皿は価格転嫁がしやすく、口コミも広がりやすい。気仙沼らしさと顧客ニーズを徹底的に意識した差別化のあるプログラムを期待します。

農政局等	都道府県	市 町 村	事 業 実 施 主 体 名	事業実施段階								評 価	評 価 コ メ ン ト
				R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8		
東 北	岩手県	盛岡市	盛岡市グリーン・ツーリズム推進協議会						●	○ □		A	事業実績の売上高及び延べ宿泊者数の達成率が50%を超えており、体制整備に向けた取組、食事メニューの開発やモニターツアーの実施、情報発信等、農泊事業を推進する取組目標を全て達成していることから総合評価をAとした。 目標達成できなかった項目については、受入予定の宿泊施設の営業期間縮小によるものであり、受入体制の強化及び情報発信の強化を図ることで目標達成されることが期待できる。 旅行代理店や金融機関などが実施体制に組み込まれていることは強みであると思われる。したがって今後、地域全体での合意形成をさらに進め、空き家を活用した宿泊施設整備、地域資源の掘り起こし及びコンテンツ化の推進、事業者のICTスキル向上や予約管理システム導入を進めていくことで、目標達成に近づくことを期待される。
東 北	岩手県	奥州市	ころもがわ農泊地域協議会						●	○ □		A	計画どおり取組が実施され、概ね目標を上回る実績となっており総合評価をAとした。 雨天対応のコンテンツや夜間のコンテンツを造成したこと、受付フォームホームページの設置、OTA予約管理システムの運用、GoogleマップMEO対策等を講じるとともに、配信活動の増加によるブランド認知の強化を図ることで、海外からの誘客実績につながっている。 なお、滞在中の体験コンテンツの充実が不可欠であるという認識を持っているが、体験プログラム数の実績はやや下回った。その反省点を整理し、同じく目標未達だった食事メニューの開発と併せて補強することにより、地域の魅力を活かしたユニークな農泊商品を提供できることが期待される。
東 北	宮城県	登米市	食農体験ネットワーク登米協議会						●	○ □		A	事業実績の延べ宿泊者数の達成率は72%と目標には届かなかったが、売上高及び簡易宿所料金単価の達成率は目標を上回っており、地域食材を使った食事メニュー、インバウンド対応アクティビティ、インバウンド受入客数も目標を達成していることから総合評価をAとした。 延べ宿泊者数はOTAの掲載作業に遅れが発生したことによるものであり、空き家を活用した宿泊施設が整備されたことで新たなプランの販売が可能となり、地域ガイドの育成によるインバウンド受入機運の醸成が図られていることから目標達成に向かうことを期待したい。

農政局等	都道府県	市 町 村	事 業 実 施 主 体 名	事業実施段階								評 価	評 価 コ メ ン ト
				R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8		
東 北	秋田県	仙北市	一般社団法人仙北市農山村体験推進協議会						●	○ □		A	(評価コメント) 計画どおり取組が全て実施され、目標を上回る実績となっており総合評価をAとした。 オンライン予約システムを構築し予約事務の簡略化するとともに、受入体制及びコンテンツのブラッシュアップを料金単価の向上に結びつけており、経営の持続性とさらなる業績アップが期待される。また、実施体制については、農泊提供施設の新規開業や新規会員加入による体制拡大が図られた。 さらに各種商談会への参加やSNS等の情報発信を強化したことで目標値以上の成果を上げていることも大いに評価できる。 今後も、事務局を中心に各施設や他事業者との連携を密にしていくことで、更なる取組の発展、地域全体の収益向上につながることを期待したい。

(注1) 「事業実施段階」の凡例: ソフト対策 ○…交付対象年度(計画) ●…交付対象年度(実施済) □…目標年度(計画) ■…目標年度(実施済)
ハード対策 ☆…交付対象年度(計画) ★…交付対象年度(実施済) ◇…目標年度(計画) ◆…目標年度(実施済)
重点指導 ▼…重点指導(通知) △…重点指導(結果報告予定) ▲…重点指導(結果報告)

(注2) 「評価」の区分: A…優良 B…良好 C…低調 評価対象外…評価対象外

4. 第三者機関の意見聴取

農山漁村振興交付金(農山漁村発イノベーション対策)実施要領(令和4年4月1日付け3農振第2921号農林水産省農村振興局長通知)別記4の第9の3の規定に基づき、第三者機関である「東北農政局農山漁村振興交付金評価委員会」を組織し、評価に当たり意見の聴取を行った。評価委員会の委員及び開催概要は以下のとおり。

【評価委員会 委員】

委員長:中村 勝則(岩手大学教授)

委員:横田 純子(特定非営利活動法人 素材広場 理事長)、渡辺 理絵(山形大学准教授)

【令和7年度評価委員会の開催概要】

評価委員会
1 日 時 :令和7年8月19日(火) 13:30～15:30 2 場 所 :仙台合同庁舎A棟6階第1会議室 3 議事概要 (1)事業評価の考え方について (2)評価対象地区について 4 主な意見 特になし